

感染防止チェックリスト（参加者向け）

参加者が遵守すべき事項

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替時などのスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り込まれている通知サービス・通知アプリなどを活用すること
- こまめな手洗い、アルコールなどによる手指消毒を徹底すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（出来るだけ2mを目安に（最低1m）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援などをしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告すること
- イベント前後のミーティングにおいても、三つの蜜を避けること
- イベント前夜での懇親会の開催を控えること

参加者が運営・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- ダンスをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ダンスした後は呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
- ダンス時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすることがあること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置どりにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後1直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置をとること
- イベント中に、唾（ツバ）や痰（タン）を吐くことは極力行わないこと、やむを得ない場合は、周囲を確認し飛沫の飛散に注意すること
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人とできる限り2mを目安に最低1m距離を空けて対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底すること（飲食時以外はマスク**を着用）
- 同じトングなどでの大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンクなどを指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと